

東海第二発電所 ヒアリング資料	
資料番号	TK-1-001 改1
提出年月日	平成29年10月24日

東海第二発電所 工事計画認可補正方針について（案）

東海第二発電所の工事計画認可補正申請については、最新の設置変更許可の審査状況及び設備設計の進捗（耐震・強度評価を含む）に鑑み、複数回の補正を検討している。

【第1回補正】 平成29年11月下旬頃補正予定

- ・ 本文：原則として全て。
- ・ 添付書類：耐震・強度評価に係る書類の一部。施設共通及び施設個別の説明書については、最新の審査反映等を除いて提出。図面は原則として全て提出。

【第2回補正】 平成30年3月下旬頃補正予定

- ・ 本文：第1回補正で未補正のものを全て。
- ・ 添付書類：耐震・強度評価に係る書類、施設共通及び施設個別の説明書。

別紙

- (1) 東海第二発電所 設置変更許可申請及び工事計画認可補正申請に係る全体工程（案）
- (2) 工認審査課題（論点）の整理

以上

平成29年10月～平成30年11月		平成29年			平成30年							備考						
		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7		8	9	10	11		
【設置変更許可申請】		補正		再補正														
				最終補正														
◆主要工程			第1回補正				第2回補正											
共通	工認作成要領																	
本文	1.要目表																代替循環冷却系、西側淡水貯水設備、窒素供給系、 高圧電源装置、緊急時対策所発電機燃料輸送系、Bクラス機器 ・審査反映 ・メーカー選定し直し	
	2.基本設計方針																設置変更許可補正書修正反映	
	3.適用基準及び適用規格																各施設の設計完了後に提出	
添付書類	【施設共通の説明書】																	
	1.設置許可との整合性に関する説明書																要目表と基本設計方針確定後に提出	
	2.自然現象等への配慮に関する説明書																	
	・入力津波の設定 ・津波防護に関する施設の設計方針																防潮堤ルート変更を反映した津波解析完了後に提出	
	3.設定根拠に関する説明書																	
	4.健全性に関する説明書																環境条件確定後に提出	
	5.火災・溢水防護に関する説明書																	
	【耐震性に関する説明書】																	
	1.耐震設計の基本方針																	
	・地盤の支持性能に関する基本方針																	
	2.耐震設計上重要な設備を設置する施設の耐震性についての計算書																	
	3.機器類の耐震性についての計算書																	
	4.配管系の耐震性についての計算書																	
	5.機器類の耐震計算書作成の基本方針																	
	【強度に関する説明書】																	
	1.機器類の強度に関する説明書																	
	・気水分離器及びスタンドパイプの応力計算書																	
	2.配管系の強度に関する説明書																	
3.自然事象等への配慮が必要な施設の強度に関する説明書																		
・火山への配慮が必要な施設の強度に関する説明書(建屋の強度計算)																		
4.機器類の強度計算書作成の基本方針																		
【施設個別の説明書】																		
1.原子炉本体、排気筒、格納容器の基礎に関する説明書																		
2.有効吸込水頭に関する説明書																	大型ストレナ設計反映後に提出	
3.中央制御室の居住性に関する説明書他																	▽7-1気密性、7-2開閉機構、7-3全体成立性	
4.原子炉格納施設の設計条件に関する説明書																	▽8-1健全性確認方法、8-2ガスケット増厚試験結果、 8-3データ拡充試験結果	
5.非常用電源の出力設定に関する説明書																	非常用電源負荷確定後に提出	
【品質管理の方法等】																	各設計反映	
【計算機プログラム(解析コード)の概要】																	各補正で使用した解析コードについて提出	
【図面】																	代替循環冷却系、西側淡水貯水設備、窒素供給系、 高圧電源装置、緊急時対策所発電機燃料輸送系等 ・審査反映 ・メーカー選定し直し	

【工事計画認可申請】

工認審査課題(論点)の整理

別紙-2

No.	分類	論点及び後段規制へ持ち越した課題	指摘/説明	関連する工認資料	資料提示予定
①	敷地遡上津波	防潮堤ルート変更後の遡上津波の流速、浸水深を説明すること。	10/5審査会合	津波防護に関する施設の設計方針	2018年1月末
②	鋼製防護壁	止水機能の地震時の追従性に係る実証試験結果を説明する。	10/17審査会合	津波防護に関する施設の設計方針	2018年7月末
③	地盤の支持性能	詳細設計段階において、追加地質調査結果を踏まえ、各施設位置の液化強度の信頼性及び代表性について合理的に説明する。	9/5審査会合	地盤の支持性能に係る基本方針	2018年1月末
④	地震応答	使用済燃料乾式貯蔵建屋の地震観測記録を踏まえた耐震評価を行なうこと。	9/26審査会合	使用済燃料乾式貯蔵建屋の地震応答計算書	2018年1月末
⑤	耐震評価	⑤-1 動的機能維持評価において構造等がJEAG適用外の機器評価について説明する。	10/17審査会合	各機器の耐震性についての計算書	2018年3月末
		⑤-2 弁の動的機能維持評価の高周波数までの検討を示すこと。	10/17審査会合	弁の耐震性についての計算書	2018年5月初
		⑤-3 スタンドパイプの極限解析の保守性を確認する試験の結果について説明する。	10/17審査会合	気水分離器及びスタンドパイプの応力計算書	2018年1月末
		⑤-4 スタンドパイプへの極限解析に用いる解析モデルの妥当性を示すこと。	10/17審査会合	気水分離器及びスタンドパイプの応力計算書	2018年3月末
⑥	火山	屋根スラブの剛性を考慮する等して、主要部位の現実的な状態を評価することを検討すること。	9/28審査会合で説明	火山への配慮が必要な施設の強度に関する説明書・建屋の強度計算書	2018年3月末
⑦	ブローアウトパネル	⑦-1 スライド扉について気密性を維持できる構造であることを詳細設計段階で説明すること	10/12審査会合	中央制御室の居住性に関する説明書他	2018年5月末
		⑦-2 スライド扉の確実な開閉について、詳細設計で説明すること。	10/17審査会合		2018年5月末
		⑦-3 クリップ、スライド扉等の要素技術を含めた、ブローアウトパネル全体としての成立性を確認する。	—		2018年5月末
⑧	原子炉格納容器限界温度・圧力	⑧-1 200°C、2Pdでの健全性の担保の考え方を示すこと。	9/21審査会合	原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	2018年3月末
		⑧-2 ガスケットの増厚に関する検討結果について後段の工認段階で説明すること。	9/21、10/5審査会合		2018年3月末
		⑧-3 圧縮永久ひずみ率のデータを拡充し、工認で説明すること。	10/12審査会合		2018年3月末